

同窓会だより

平成13年9月10日発行
東京学芸大学教育学部
附属竹早小学校同窓会

会長 面高佑亮
発行責任者 宇津元一朗
印刷 タケハヤ勝

No. 21

題字：内藤祐次



同窓会会長挨拶

「会長就任にあたって」

昭和二十二年卒 面高佑亮

平成十二年十一月七日の開校記念日をもって、東京学芸大学教育学部附属竹早小学校が創立百周年を迎えました。これを機に、十三年の長い期間、同窓会の会長として、会の発展にご尽力戴いた内藤祐次様がおやめになる事になりました。百周年、西暦二千年、二十一世紀という現在生きている私達にしか経験できない区切りの年、それにご高齡。うらやましいばかりに見事な人生設計のように思えます。

内藤会長は充実した会とする為、会員各位には負担となる会費の値上げを行い、窮屈だった同窓会会計を見事立て直されました。その決断によって会の運営はスムーズになり、学校への百周年記念品の贈呈も会員各位に大きな負担となる事なく出来ました。

平成四年には大正十一年から続いた同窓会理事長制度を廃止し、会長制度を導入されました。(それまで校長先生が会長)それにより同窓会の形態がすっきりしたのです。この偉大な会長のおとを理事会の

決定で私が引き継ぐ事となり、その責任の重さを、ひしひしと感じています。同窓会規約では、会長の選出は総会で行う、となっておりますが、今までの慣例で四月一日から私が引き継いでいます。総会でご承認けると幸い、と思っております。

私は昭和二十二年卒で、集団疎開を経験した学年です。入学した昭和十六年に小学校が「国民学校」と改称され、卒業の二十二年には「小学校」になりました。六・三制がはじまり、私達の学年は小学校という名の学校を経験しない特殊な学年です。

私は一介の整形外科医院を開業する医師です。医者の世界は世間から見るとうらやましがられる世界ですが、内藤会長のように大企業の上にいる人とはちがって、実は小さな世界において、世間知らずの所があります。理事の方々、先輩の方々或いは会員の方々のご意見に耳を傾け、内藤会長の名を汚す事のないように頑張りますので、会員の皆様のご協力をお願いするところでです。

平成13年度 同窓会開催のお知らせ (総会・懇親会)

- 会場 竹早小学校ランチルーム
- 日時 平成13年10月20日(土)
- 午後1時30分 受付開始
- 午後2時～午後2時30分 総会
- 午後2時30分～午後4時30分 懇親会
- 会費
- ・一般 7,000円
 - ・昭和26年卒の会員 (祝・卒業50周年) 3,000円
 - ・平成6年度卒の会員 (祝・21世紀最初の成人式) 3,000円
 - ・中学生/高校生 2,000円

ご招待 現・旧職員の方々
昭和11年卒以前の会員
(喜寿以上の会員)

21世紀初の竹早小学校同窓会です。今回は落語家「柳亭左楽」と紙切り「林家正楽」両師匠を迎え同窓会会員の方に大いに楽しんでいただける会を企画しております。是非ご出席下さい。



柳亭左楽



林家正楽



春日通りに面した正門(都バス春日二丁目下車)が入口です

ご出欠のお返事は同封のはがきにご記入の上10月5日必着でお知らせ下さい。